

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価					前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課			
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		成果	効率性	必要性	総合評価	総合評価理由							
					実績 達成率	実績 達成率	実績 達成率	目標													
1	緑化推進事務	区内に残された貴重な樹林地などを保全し、後世にみどりを継承するため	50	成果指標	樹林地所有者との新規協件数	件	1	1	0	1	B	B	A	A	B	「みどり30推進計画」に基づき、さまざまな事業を実施し、最新の調査(平成23年度)では25.4%と23区では一番高い結果となっている。一方で5年前(平成18年度)の結果と比べると0.7ポイントの減少となり、平成24年度には、5か年の取り組みによる課題等を踏まえた新たな事業計画を策定し、新たな事業について着実に取り組んでいる。 今後は、特別緑地保全地区の指定を含め、都市計画緑地等他の制度を活用し、効果的な樹林地の保全に取り組む。	A	特別緑地保全地区制度については引き続き、国、東京都、他自治体と現状や課題の共有を図る。 また、「みどり30推進計画第二期事業計画」に基づく事業を着実に推進する。	B	みどり推進課	
						達成率	100	100	0												
						経費	千円	56,873	36,588	64,172											152,619
						上記のうち人件費	千円	24,000	19,520	27,571											24,174
2	憩いの森等事務	樹林地を所有者から借り受け、区民に開放するため	53	成果指標	憩いの森、街かどの森の指定か所数	か所	49	48	48	50	B	B	A	A	B	樹林地の保全は、練馬のみどりを守る手段として大変重要である。この事業は民有地のみどりを守りながら無償貸借契約により区民に開放することができるという成果を上げている。今後も憩いの森の適正管理をすることにより、樹林地の保全に努めていく。	B	練馬みどりの機構の憩いの森の管理運営委託について検討を行う。	B	みどり推進課	
						達成率	98	96	96												
						経費	千円	76,308	63,591	65,172											68,262
						上記のうち人件費	千円	7,200	11,840	10,033											13,746
3	公園新設事務	みどりと水の拠点となる新しい公園等を整備し、みどりと水のネットワークの構築を推進するため	51	成果指標	区立公園および緑地の新規整備面積(1公園新設事務によるもの)(目標数値は長期計画による)	m ²	16,899	1,506	47,735	3,000	B	A	A	A	A	みどりと水の拠点となる公園の整備が、計画に沿って着実に進んでいる。	A	大規模公園の工事が計画通り円滑に進むよう、関係機関等との調整を充分に行う。 整備内容等について、引き続き、区民意見を聴く機会を設けるなど、区民ニーズに応えた公園づくりを行う。	B	計画課	
						達成率	112.7	100	101.6												
						経費	千円	5,457,987	703,672	2,047,564											1,055,123
						上記のうち人件費	千円	41,600	37,280	29,230											24,490
4	保護樹木等の調査および管理事務(保護樹木の管理)	保護樹木・保護樹林を指定し、保護に努めるため	53	成果指標	保護樹木新規指定数	本	45	3	11	25	B	B	B1	A	B	民有地にある練馬のみどりを守るため、所有者負担の軽減につながる保護樹木等の事業は必要である。平成25年度は所有者支援制度の見直しを行ったので、今後は検証を行う。	A	補助金制度の見直しを行ったことについて、効果と実績について検証を行う必要がある	B	みどり推進課	
						達成率	180	12	44												
						経費	千円	38,305	27,704	36,748											51,247
						上記のうち人件費	千円	4,000	6,800	11,771											14,220

平成26年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:411 施策名:ふるさとのみどりを保全し、新たなみどりをつくる】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		総合評価理由	成果	効率性	必要性					総合評価	
					実績	実績	実績	目標											
5	施設緑化事務(民間施設)	みどり豊かで潤いのある街並みを形成するため	53	成果指標 生け垣・屋上緑化・壁面緑化助成事業の延べ利用者数	実績	実績	実績	目標	B	B	A	A	B	生け垣化助成は目標数を下回ったものの、着実に生け垣緑化や屋上緑化が進んでいる。	B	生け垣化助成については、住宅展示場などよりニーズが見込まれる場所でパンフレットを置き、需要の掘り起こしを行う。	B	みどり推進課	
					達成率	達成率	達成率												
					人	40	42	21											60
					%	66.7	70.0	35.0											
					経費	投入経費	千円	23,048											26,212
	上記のうち人件費	千円	8,000	13,040	16,985	14,615													

平成26年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:412 施策名:みどりを愛しはぐくむ活動を広げる】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課			
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由		
					実績 達成率	実績 達成率	実績 達成率	目標												
1	花とみどりの相談所等事務(牧野記念庭園)	世界的に有名な植物学者牧野富太郎博士の居住地を庭園として開放し、広く一般に博士の業績を紹介し、みどりの文化の向上に寄与するため	55	成果指標	来園者数 (来園者数/目標来園者数)	人	実績 23,096	実績 24,982	実績 20,116	目標 25,000	B	B	A	A	A	博士が愛した庭園の中でみどりに親しむことができ、他の施設と比べても練馬区ならではの特色のある庭園である。事業規模も適切であり良好に進んでいる。	B	現在、牧野記念庭園管理作業(園内清掃、樹木等の管理)および牧野記念館の展示管理運営を委託している。 引き続き、観察会、園芸教室等の充実を図るための検討を行っていく。 入園者数が減少傾向にあることから、引き続き特色ある展示会を企画・開催する。	B	みどり推進課
						%	90.0	99.9	80.5											
				経費	投入経費	千円	34,298	47,296	41,573	42,555										
				上記のうち人件費	千円	1,600	10,320	8,690	7,505											

平成26年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:421 施策名:区民・事業者による身近なところからの地球温暖化防止を促進する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課			
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由		
					実績達成率	実績達成率	実績達成率	目標												
1	地球温暖化対策推進事務(（仮称)練馬区版カーボン・オフセット制度の創設)	温室効果ガス排出量を削減し、地球温暖化対策を推進するため。	56	成果指標	制度創設の進捗状況	実績達成率	実績達成率	実績達成率	目標	A	B	A	A	B	カーボン・オフセットについて、国の認証制度等を参考に検討を行ったが、区内の樹林では直ちに制度創設はできないことが判明した。そのような状況の中でも、カーボン・オフセットの考え方を取り入れ、区独自の事業であるエコライフチェック事業と連携した方法を検討し、平成26年度に実施する予定とした。	B	区が実施しているエコライフチェック事業は、小中学生を中心に、広く区民に協力を求める事業である。この事業と連携して、カーボン・オフセットに関連する事業を行うことで、より多くの区民の環境意識が高まり、地球温暖化対策の取組拡大を図る。	B	環境課	
						制度設計	制度検討	制度検討	モデル事業実施											
						%	100.0													
						経費	投入経費	千円	6,640											1,280
	上記のうち人件費	千円	1,600	1,280	1,027	1,501														
2	地球温暖化対策推進事務(住宅・事業所の地球温暖化対策設備設置補助)	地球温暖化対策の推進および区民の環境意識の高揚を図るため。	57	成果指標	地球温暖化対策住宅用設備設置補助件数	実績達成率	実績達成率	実績達成率	目標	B	AA	AA	A	AA	本補助制度は家庭や事業所から排出される二酸化炭素削減のために、効率的かつ効果的な補助制度であり、区民のニーズをとらえ良好に進んでいる。また、申請者が多い場合には、抽選で交付者を決定しているため公平である。	A	区民のニーズをとらえて実施することが必要であり、どのような補助メニューが必要かを他区の事例等を参考に検討していく。	B	環境課	
						件	666	684	830											557
						%	119.6	122.8	149.0											
						経費	投入経費	千円	61,066											75,505
	上記のうち人件費	千円	3,200	15,520	12,403	12,324														

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価					前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		成果	効率性	必要性	総合評価	総合評価理由						
					実績	実績	実績	目標												
1	リサイクルセンター整備事務	区民との協働による環境・リサイクルに関する情報発信等の普及啓発事業の拠点を整備するため。	59	成果指標 計画どおり事業が進捗している割合(基本設計10%、実施設計20%、整備工事70%の比率とする。)	達成率	0	0	10	20	B	A	A	A	A	「関越高架下活用施設建設懇談会」を設置し、住民・施設利用者等の意見を聴きながら、施設整備内容を検討し基本設計に反映させた。	A	高架下空間の特性を踏まえた施設整備を進める。	B	清掃リサイクル課	
					達成率	0	0	100												
					投入経費	千円	800	2,400	16,441											21,069
					上記のうち人件費	千円	800	2,400	8,848											8,769

平成26年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:425 施策名:リサイクルを進める】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課			
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		総合評価理由	成果	効率性	必要性					総合評価		
					実績	実績	実績	目標												
1	リサイクル推進事務	ごみの減量とリサイクルを推進するため。	60	成果指標 ごみと資源を合わせた総量に対する資源の割合 {回収資源量/(ごみの総量+回収資源量)}	達成率	24.4	24.7	25.1	27.3	B	B	A	A	B	ごみが減量する一方で、びん・缶・ペットボトルの回収か所の増加等により区民が資源をより出しやすくなっており、区のリサイクル率向上のため、有効に資源化が進んでいる。	B	・引き続き集団回収の拡充に取り組むため、報奨金のあり方を検討する。 ・回収空白地域の解消のため、小型家電の回収拠点を増やす。 ・蛍光管回収量の増加のため、回収方法を含めた検討を行う。	A	清掃リサイクル課	
					達成率	95.3	94.3	94.0												
					投入経費	千円	2,756,034	2,643,673	2,540,712											2,673,115
					上記のうち人件費	千円	66,400	115,360	111,785											115,024

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課			
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由		
					実績	実績	実績	目標												
1	市街地整備推進事務(都市計画マスタープランの運用)	練馬区のまちづくりの総合的指針である都市計画マスタープランの運用を踏まえ、まちづくりを推進するため。	-	成果指標	都市計画マスタープランは、まちづくりの総合的な指針であり数値目標の記載は無いことから、運用について指標化することはできない。	達成率	達成率	達成率	目標	B	A	A	A	A	区全体のまちづくりの方針である都市計画マスタープランの運用により、区が主体に進めるまちづくり、住民等が主体に進めるまちづくりは良好に推進されている。また、今後のまちづくりの進捗状況を見据え、都市計画マスタープランの改定を進めている。	A	練馬区まちづくり条例の規定に基づき、練馬区都市計画マスタープランを改定する。	B	都市計画課	
					%	100	100													
					投入経費	千円	2,598	26,390	27,743											27,577
					上記のうち人件費	千円	1,600	15,680	15,563											15,563

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由	
					実績	実績	実績	目標											
1	地域まちづくり推進事務(地区まちづくり)	幹線道路の整備を契機とし、よりよい住環境を形成するため	61 62 63 64 65	成果指標 地区計画等、面的整備計画の計画策定進捗度 以下の指数により算定した各区域の進捗度の合計値 【基礎調査 20 前期合意形成 40 中期合意形成 60 後期合意形成 80 計画決定 100】	実績	実績	実績	目標	B	B	A	A	B	都市計画道路の整備に伴う課題の解決とともに、沿道にふさわしいまちづくりが求められる中で、地域住民の合意形成を丁寧に取りながら、道路の整備進捗にあわせてまちづくりの検討を着実に進めることができている。	A	地区計画の策定等の作成に向けて、地域住民の意向を把握し計画に反映するよう努めるとともに、計画内容については広く周知し丁寧な合意形成を図る。	B	東部地域まちづくり課・大江戸線延伸推進課	
					達成率	達成率	達成率												
					-	257	309	317											364
					%	100	94.8	95.2											
2	土支田中央区画整理事務	土支田新駅周辺地区を区画整理事業により良好な都市環境を形成するとともに、大江戸線延伸促進に寄与するため	66	成果指標 事業による道路整備延長(年度別)	実績	実績	実績	目標	B	A	A	A	A	平成25年度をもって道路整備等工事が完了した。また、換地処分に向けた出来形確認測量にも着手し、計画どおり進捗しているため。	A	1 平成27年度末の換地処分に向けた換地計画(案)を作成する。 2 地域住民に対する説明責任を果たし、引き続き区画整理事業に対する理解と協力を得ながら事業の進行管理をする。	B	土支田中央区画整理	
					達成率	達成率	達成率												
					m	770	700	1,347											
					%	100	69.3	100											
3	組合等土地区画整理推進事務(区画整理事業)	土地区画整理事業により市街地環境を整備するため	67	成果指標 土地区画整理事業で整備した面積(累計)	実績	実績	実績	目標	A	A	A	A	A	土地区画整理事業により、道路や公園等の公共施設の整備・改善、宅地の利用増進が一体的に進められている。また、新規検討地区の相談については、その地域ごとの状況や地権者の意向を十分に把握し、随時事業化へ向けた協議を行っている。	A	新規検討地区について、平成26年度の事業開始および円滑な事業推進に向け、コンサルタントや地権者と十分に調整を行っている。	B	まちづくり推進調整	
					達成率	達成率	達成率												
					ha	40	44	44											46
					%	100	100	100											
経費	投入経費	千円	93,084	83,393	77,121	89,778													
		上記のうち人件費	千円	51,200	54,080	51,192	56,564												
		千円	944,998	1,091,716	882,493	143,950													
		千円	100,000	112,160	89,428	68,256													

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価					前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		総合評価理由	成果	効率性	必要性	総合評価						
					実績	実績	実績	目標												
4	市街地整備推進事務(地区まちづくり)	幹線道路の自動車交通騒音から居住空間の静穏性を守るとともに、幹線道沿道にふさわしい土地利用を誘導するため。避難路沿道では、地震時の二次災害として発生する火災の延焼防止と避難者の安全を確保するため。また、建築物の共同化等により市街地環境の向上と優良な住宅の供給促進を図るため。	74	成果指標	沿道地区計画の区域内における建築物に関する届出件数(累計)	件	実績	実績	実績	目標	B	B	A	A	A	沿道地区計画区域内における建築物の規制誘導は、権利者の建替え等が事業進展の要因となる。このため、事業目的の達成に長期の年月を要するものの、着実に成果を上げていると判断する。	A	沿道地区計画の規制内容を適切に周知することで、制限内容に沿った防音・遮音機能の高い住宅の建設を誘導する。	B	まちづくり推進調整課
						%	達成率	達成率	達成率											
						千円	486	516	547	580										
						千円	486	516	547	580										
5	地区計画推進事務	良好な市街地の保全と形成を図るため	68	成果指標	地区計画の策定数(累計)	地区	実績	実績	実績	目標	A	B	A	A	B	地区計画区域内における建築物の規制誘導は、権利者の土地利用等が事業進展の要因となる。目標とする地区計画の策定数は達成出来なかったが、策定済みの地区計画区域内での建替え等では、制限に適合する建築行為が行われ良好な市街地の形成が進んでいるため、長期の年月を要するものの、事業目的の達成に向け着実に成果を上げていると判断する。	A	地区計画の制限内容が明確でないもに関しては取扱い基準を整理し、制限内容を正確に周知することにより、良好な市街地の形成を誘導する。	B	まちづくり推進調整課
						%	達成率	達成率	達成率											
						千円	28	30	30	42										
						千円	28	30	30	42										
				経費	投入経費	千円	4,800	3,600	8,918	4,582										
						千円	4,800	3,600	6,083	4,582										
				経費	投入経費	千円	125,599	71,562	132,351	302,538										
						千円	19,200	34,880	46,689	37,604										

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費				実施体制	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課			
				単位	23年度	24年度	25年度		26年度	成果	効率性	必要性					総合評価	総合評価理由	
3	地域まちづくり推進事務(大泉学園駅)	駅周辺の地域拠点の機能向上を図るため	71	成果指標 計画策定の進捗度(進捗指数の各地区の合計) 【再開発事業】 基礎調査 20 前期合意形成 40 中期合意形成 60 後期合意形成 80 計画決定 100 事業認可 120 権利変換 140 整備(一部) 160 整備(大部分) 180 竣工 200 【商業地区、住宅地区、北西地区】 基礎調査 20 前期合意形成 40 中期合意形成 60 後期合意形成 80 計画決定 100	実績	実績	実績	目標	AB	A	A	A	A	平成14年度に南口中心の市街地再開発事業が完了し、現在は北口を中心としたまちづくりを推進するため、市街地再開発事業が施工中であるとともに地区計画等の都市計画決定がなされ、良好に進んでいる。	B	西部地域まちづくり課			
					達成率	達成率	達成率										達成率		
					指数	330	390	440									500		
					%	100	100	100											
4	地域まちづくり推進事務(生活拠点)	練馬駅、石神井公園駅、大泉学園駅、光が丘駅を除く区内各駅周辺の拠点機能の向上を図るため	72	成果指標 計画策定の進捗度(進捗指数の各地区の合計) 基礎調査 20 前期合意形成 40 中期合意形成 60 後期合意形成 80 計画決定 100	実績	実績	実績	目標	B	A	A	A	A	上石神井駅周辺地区では、平成20年3月策定のまちづくり構想に基づき、より具体的なまちづくりについて検討を行った。 武蔵関駅周辺地区では、まちづくり協議会から平成24年5月練馬区に提出された提言書をもとに「武蔵関駅周辺地区まちづくり構想(案)」を作成した。 上井草駅周辺地区では、まちづくり協議会から平成25年3月練馬区に提出された提言書をもとに「上井草駅周辺地区(下石神井四丁目)まちづくり構想(素案)」を作成した。	B	重点地区まちづくり計画の策定にあたっては、今後も地域住民の意向を把握し計画に反映させるよう引き続き努めるとともに、計画内容等については広く周知し丁寧な合意形成を図る。また、重点地区まちづくり計画策定後は、まちづくり手法の検討を行うなど具体的なまちづくりに取り組む。	B	東部地域まちづくり課 西部地	
					達成率	達成率	達成率												達成率
					指数	248	310	233											252
					%	100	106.9	100											
経費	投入経費	千円	165,087	2,398,423	1,323,665	2,939,336													
	上記のうち人件費	千円	40,000	49,440	51,350	48,901													
経費	投入経費	千円	54,458	45,577	46,396	41,241													
	上記のうち人件費	千円	32,000	26,240	25,280	22,357													

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価					前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		総合評価理由	成果	効率性	必要性	総合評価						
					実績	実績	実績	目標												
1	密集住宅市街地整備促進事業推進事務	道路、公園の整備および建替え支援による住宅の不燃化を促すことにより地区の安全性の向上を図り、災害に強い総合的なまちづくりを進めるため	73	成果指標 道路・公園等用地取得面積(延べ面積)	㎡	15,137	15,428	15,755	AB	A	A	A	A	地域との協力により用地取得および道路・公園整備が着実に進み、まちの防災性が高まっている。	A	江古田北部地区、北町地区は事業期間を踏まえ未取得用地の買収に尽力し、未整備箇所の整備を進めるとともに、今後の事業の進め方について整理をする。 貫井・富士見台地区において、事業をさらに推進するため、推進業務委託をプロポーザル方式により決定する。	B	東部地域まちづくり課		
					%															
					経費 投入経費	千円	2,714,275	2,708,493											862,515	2,981,554
					上記のうち人件費	千円	24,000	27,520											27,176	42,660
2	耐震化促進関連事務	耐震診断、実施設計および耐震改修工事に要する費用の一部を助成することにより、建築物の耐震性の向上を図り、災害に強いまちづくりを目指すため	75	成果指標 耐震改修工事等助成件数	件	335	400	281	B	A	A	A	A	国および都による法律の改正や条例の期限延長が行われ、区としてもこれらの動きに連動して助成要綱の見直し作業を実施した。これにより耐震化支援事業の拡充および推進がさらに図られることとなり、事業は良好に進んだ。	A	・特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断を全棟完了させ、さらに個別に働きかけて実施設計や改修等へ誘導していく。 ・多くの区民の方々が利用しやすい場所で耐震相談会を開催して助成制度の周知を行い、耐震化への理解を深めてもらう。また簡易耐震診断の受診だけで止まっている方々に対して、精密診断以降へ進ませるべく積極的に働きかける。	B	建築課		
					%	173.6	200	106.8												
					経費 投入経費	千円	220,814	427,228											392,226	961,291
					上記のうち人件費	千円	16,000	25,120											38,789	38,710

平成26年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:454 施策名:だれもが利用しやすいまちをつくる】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		総合評価理由	成果	効率性	必要性					総合評価	
					実績	実績	実績	目標											
1	交通施設整備計画推進事務(鉄道駅バリアフリー事業)	鉄道駅における更なるバリアフリー施設を整備促進することにより、だれもが快適に移動できる交通環境を実現するため。	76	成果指標 鉄道駅施設の調査検討を行うとともに、鉄道事業者への働きかけを行う	実績	実績	実績	目標	AB	B	A	A	B	区内すべての鉄道駅でバリアフリールートが1ルート確保されている。一方で、区民からは更なるバリアフリー化についての要望があり、25年度は昨年度に引き続き、鉄道駅のバリアフリー施設に関する調査検討を行い、駅施設について区民の意見などを把握した。また、その調査結果を踏まえ、鉄道事業者に働きかけを行った。	A	引き続き更なるバリアフリー化を促進するために調査検討を行うとともに、鉄道事業者へ更なるバリアフリー施設の整備推進を働きかけていく。	B	交通企画課	
					達成率	達成率	達成率												
					駅	2	3	3											3
					%	100	150	100											
					投入経費	千円	7,547	9,799											4,467
上記のうち人件費	千円	4,000	6,880	2,765	2,765														

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		総合評価理由	成果	効率性	必要性					総合評価	
					実績 達成率	実績 達成率	実績 達成率	目標											
1	大江戸線延伸推進事務	交通利便性の向上と都市基盤の充実を図るため	77	成果指標 大江戸線延伸に向けた活動状況		実績 達成率	実績 達成率	実績 達成率	目標	B	B	A	A	B	大江戸線の導入空間である補助230号線は全線で事業着手がされ、平成25年度は土支田地蔵西交差点から土支田通りまでの170mの区間が交通開放されるなど延伸に向けた周辺環境は整いつつある。	A	国や都とも、より一層緊密に連携しながら、新たな取り組みも工夫していく。	B	大江戸線延伸推進課
					関係機関への要請活動(3回)他	関係機関への要請活動(3回)他	関係機関への要請活動(5回)他	延伸に向けた取組みの検討											
					%														
					経費	投入経費	千円	26,663	32,493										
	上記のうち人件費	千円	8,000	11,680	11,534	11,534													
2	交通施設整備計画推進事務(西武池袋線立体交差)	道路と鉄道との連続立体交差を行うことにより踏切を除却し、交通渋滞を解消するとともに踏切事故をなくし、分断されていた市街地の一体化を図るため。	78	成果指標 練馬高野台駅～石神井公園駅間の整備		実績 達成率	実績 達成率	実績 達成率	目標	A	A	A	A	A	事業化当初計画されていたとおり、順次高架化が完了している。	A	本事業を円滑に進めるため、東京都や㈱西武鉄道などの関係機関と情報交換・共有化を密に行い、区民と事業者間の調整に努める。	B	計画課
					-	完了	完了	完了	事業完了										
					%	100	100	100											
					経費	投入経費	千円	633,323	398,153										
	上記のうち人件費	千円	8,000	10,000	8,216	8,216													
3	交通施設整備計画推進事務(西武新宿線立体化推進事業)	西武新宿線の立体化を促進し、踏切を除却することで、道路と鉄道の立体化を図るため	79	成果指標 事業化推進に向けた調査研究および促進活動		実績 達成率	実績 達成率	実績 達成率	目標	AB	B	A	A	B	西武新宿線の立体化を促進するために沿線地域の交通施設の調査検討を行った。事業化に至ってはいないが、外環の2の動向も踏まえ、都などの関係機関との勉強会を行った。	A	関係機関と連携しながら立体化の促進に資する調査・検討を行い、早期に鉄道立体化を図るよう都に働きかけていく。	B	交通企画課
					公共施設の 詳細検討	都市基盤施設の方針検討	都市基盤施設の基本計画の検討	都市基盤施設の整備方針の検討											
					%	達成	達成	達成											
					経費	投入経費	千円	7,623	7,670										
	上記のうち人件費	千円	4,000	3,680	3,634	3,081													

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	実施計画No	成果指標・経費					実施体制	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課																	
				単位	23年度	24年度	25年度	26年度		成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由																
					実績 達成率	実績 達成率	実績 達成率	目標																										
1	交通安全施設整備事務(歩行者横断部改修)	安全で快適な歩行者空間を確保するとともに魅力あるまち並みを形成するため	85	成果指標 歩行者歩道横断部改良計画に基づく整備割合	箇所	実績 16	実績 20	実績 20	目標 20	B	A	A	A	A	成果・効率性・必要性のいずれの点から見ても良好である。	A	引き続き福祉のまちづくりサポーターを対象とした報告会やアンケートを活用し、意見を整備に反映する。 維持管理を担当する土木出張所等と連携し、工事の必要な箇所を効率的に抽出する。	B	計画課															
					%	80.0	100.0	100																										
					経費	千円	23,392	16,969	10,640											12,343														
					上記のうち人件費	千円	12,000	12,400	711											1,975														
2	自転車対策事務(自転車駐車場の整備および維持・管理、放置自転車対策)	駅周辺の道路等の通行障害となる通勤通学による放置自転車を解消し、歩行者・自転車・自動車の安全で円滑な通行と良好な生活環境の確保を図るため	86 87	成果指標 駐車場利用台数(目標:乗り入れ台数)(実績:自転車駐車場利用台数)(達成率:自転車駐車場利用台数/乗り入れ台数)	台	実績 37,791	実績 38,586	実績 39,125	目標	BD	B	A	A	A	新たな施設の整備や購入により一定の成果が得られた。また、コストは前年を下回っており効率性が高かった。 今後も自転車利用者数の増加が予想されるため、必要性はA評価である。 自転車駐車場の利用料金で維持、管理、運営を行い、利用者負担により事業を進めている。	A	放置禁止区域を適宜見直すとともに、駅周辺の区立公園等における撤去について検討する。 自転車駐車場の建設に補助金等の導入をはかり区負担の軽減を図る。 短時間無料設定施設の利用状況等の分析結果を蓄積し、今後の施設整備に活かす。 自転車走行環境モデル整備路線の1路線(光が丘西大通り、延長約1500m)を整備し、効果を検証する。	B	交通安全課															
					%	95.3	96.9	97.7																										
					経費	千円	986,446	1,485,593	1,416,690											2,171,710														
					上記のうち人件費	千円	48,000	61,200	72,917											61,225														
					3	交通安全施設整備事務(交差点局所改修)	交差点等の局所改修を行うことにより、歩行者の安全確保、車両交通の円滑化を図るため	85	成果指標 抽出した改修すべき交差点の整備箇所											箇所	実績 1	実績 1	実績 0	目標 合意形成	B	B	B1	A	B	改修整備箇所数を成果指標としており、25年度については整備工事に至った現場がなく実績としては結果があがらなかったが、今後の候補箇所の現地調査や改修計画策定、必要となる用地の取得交渉等は継続して行っており、長期的視点では相応の進捗は見られるため。	B	現段階では改修整備に至る以前の調査や計画策定あるいは用地取得交渉段階にある現場が多く、ここ数年の間は実績値として大きな数値があがる見込みこそないが、中長期的には着実に効果をあげてきた事業でもあることから引き続き積極的に実施していく。	B	特定道路課
																				%	50	100	0											
経費	千円	65,363	26,112	5,962						0																								
上記のうち人件費	千円	8,000	8,800	4,898						0																								